

# 2024 年度

# 報告書



青山学院大学保健管理センター

## 巻頭言

保健管理センター所長 稲垣 中

2025年の夏は記録的な猛暑となり、8月5日には群馬県伊勢崎市でわが国の観測史上最高気温である41.8°Cを記録しました。今年の極端な暑さの背景には、第一に例年より梅雨明けが極端に早かつたこと、第二に太平洋高気圧とチベット高気圧が同時に日本付近へ張り出す「ダブル高気圧」と呼ばれる現象が発生したこと、第三に海水温が記録的に高かったことなどが関与していたようです。

このような猛暑が続くと増加するのが熱中症です。消防庁の統計によると、2021年の熱中症による救急搬送者数は47,877人にとどまっていたのに、2022年は71,029人、2023年は91,467人、2024年は97,578人と増加の一途を辿り、今年はどうとう100,230人（速報値）と大台に乗りました。

統計データを見て気になった点の一つは、住居や屋内にいたにもかかわらず熱中症となった人が約半数（46.5%）を占めていることです。私が幼少の頃には、熱中症といえば屋外で起こるものと相場が決まっていたのですが、近年は屋内でも油断できません。エアコンを使って、室温を下げる事が重要です。電気代を気にして室温を高めに設定する方がおられるようですが、健康に直結する問題なので、温度をしっかりと下げるをお勧めいたします。

次に気になったのは、65歳以上の高齢者が6割近く（57.2%）を占めていることです。もともと、高齢者は脳内の口渴中枢の機能低下によって喉の渇きを感じにくく、また、腎機能の低下によって尿量が増える傾向があるので、体内から水分が失われやすい上に、発汗機能の低下によって体内に熱がこもりやすくなるため、熱中症になるリスクが高いのです。そのため、こまめな水分・塩分補給、炎天下での激しい運動の回避、帽子や日傘の活用による直射日光の遮断、十分な休息と栄養の確保などといった対策をとることが重要です。環境省が運営する「熱中症予防情報サイト」に簡にして要を得たガイドが掲載されていますので、ぜひご一読ください。

さらに注目すべき点として、3.5%（3,542人）が教育機関で発生していたことが挙げられます。熱中症となった細かい経緯が消防庁のデータには書いていませんが、その多くが体育会系の部活動中に発生したと推測されるので、保健管理センターは数年前から大塚製薬株式会社主催の「熱中症アンバサダー®講座」の受講を推奨しています。2024年度には88名、2025年度には126名の方々が熱中症アンバサダー®として認定されました。これほど多くの学生さんや教職員の方たちが熱中症対策に关心を持ってくださることはありがたく、また、大変心強くも思っております。残念ながら、今年度の受講期間は9月30日に終了しましたが、「講座の存在を初めて知った」という方は、ぜひ2026年度に受講することをご検討ください。

今後も様々な健康課題が発生すると思われますが、学生および教職員のみなさんの健康管理を目指して、保健管理センター一同努力を続けてまいります。今後とも変わらぬ御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 目次

## 2024 年度業務報告

1. 年間業務内容.....	- 3 -
2. 学生健康診断.....	- 5 -
(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む) .....	- 5 -
(2) 学生定期健康診断項目別受診率 .....	- 7 -
(3) 学生定期健康診断有所見者の経過.....	- 7 -
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ) .....	- 8 -
(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査 .....	- 9 -
(6) 感染症罹患報告者数.....	- 12 -
(7) 学生の休学者・退学者数.....	- 13 -
3. 教職員健康診断・産業保健.....	- 14 -
(1) 教職員定期健康診断 項目別受診率 (キャンパス別) .....	- 14 -
(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス) .....	- 15 -
(3) 教職員の身体状況 (肥満とやせ) .....	- 16 -
(4) 保健指導 .....	- 17 -
(5) 教職員の休職・復職者数 (対象: 学院全体) .....	- 17 -
(6) 長時間労働者への産業医による面接 .....	- 17 -
(7) ストレスチェック受検率に関する報告 (対象: 学院全体) .....	- 18 -
4. 集団健康教育 .....	- 19 -
5. その他の法定健康診断.....	- 20 -
(1) 特殊健康診断 (相模原キャンパス) .....	- 20 -
(2) 雇入れ健康診断.....	- 22 -
(3) 特定業務従事者健康診断.....	- 22 -
6. 健康診断証明書発行業務 .....	- 22 -
(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数 .....	- 22 -
(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数 .....	- 23 -
7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	- 24 -
(1) 青山キャンパス .....	- 24 -
(2) 相模原キャンパス .....	- 25 -
8. 各キャンパス業務内容利用状況.....	- 26 -
(1) 青山キャンパス .....	- 26 -
(2) 相模原キャンパス .....	- 27 -
9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	- 28 -
10. 各種情報処理 .....	- 28 -
(1) 学生健康診断処理関係 .....	- 28 -
(2) 教職員健康診断処理関係 .....	- 29 -
11. 全国保健管理研究集会研究発表 .....	- 29 -

# 2024 年度業務報告

## 1. 年間業務内容

年	月	業 務	対象者	キャンパス・実施期間
2024年	4月	入学式救護待機	学生・来校者	青山(4/1)
		学生定期健康診断	学生	青山(3/29・4/1・2・3・4) 相模原(4/2・3・4・5)
		学生 Web 健康調査	学生	青山(3/29～4/15) 相模原(3/29～4/15)
		内科医による健康相談	学生・教職員	青山(毎週月・火・水・木・金通年) 相模原(毎週月・火・木・金通年)
		精神科医による精神衛生相談	学生・教職員	青山(毎週水・木・金通年) 相模原(毎週火・木通年)
		学生健康診断有所見者・有症状者への対応	学生	青山・相模原(4/5～通年)
		大学指定医療機関での学生フォローアップ健診（自費）	学生	青山・相模原(4/15～6/28)
		健康診断証明書発行	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		学生ポータルから学生健康診断結果閲覧開始	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		長時間労働者への産業医による面接指導	職員	青山・相模原(4月～毎月)
	5月	特殊健康診断・特定業務従事者健康診断	学生・教職員	相模原(5/8・9・10)
		有害な業務に係る歯科健康診断	教職員	相模原(5/13～5/31)
		△アソシウエイケンド企画キャンパス見学会救護待機	来校者	相模原(5/25)
	6月	△アソシウエイケンド企画キャンパス見学会救護待機	来校者	青山(6/8)
		保健管理センター運営委員会	運営委員	青山・相模原(6/26)
	7月	オープンキャンパス救護待機	来校者	相模原(7/14)
		大学院説明会救護待機	来校者	青山(7/20)
	8月	対面型オープンキャンパス救護待機	来校者	青山(8/1・2・3)
	9月	第62回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会	保健管理センター	青山・相模原(9/5・6)
		理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(9/6・7)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(9/7)
		大学同窓祭救護待機	同窓生	青山(9/16)
		9月学部・大学院学位授与式救護待機	学生	青山(9/28)
		教職員定期健康診断	教職員	青山(9/24～27) 相模原(9/25～27)
		有害な業務に係る歯科健康診断	教職員	相模原(9/30～10/31)
	10月	教職員フォローアップ健診	教職員	青山・相模原(10/7～2025/2/14)
		高等部相模原キャンパス見学会	来校者	相模原(10/5)

年	月	業 務	対象者	キャンパス・実施期間
2024年	10月	相模原祭救護待機	学生・来校者	相模原(10/12・13)
		2025年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(10/12・26) 相模原(10/26)
		第62回全国大学保健管理研究集会	保健管理センター	青山(10/16・17)
	11月	青山祭救護待機	学生・来校者	青山(11/1・2・3)
		創立記念行事救護待機	来校者	青山(11/16)
		△アソシウエーケント企画秋のキャンパス見学会救護待機	来校者	相模原(11/9) 青山(11/30)
		第44回八大学保健管理担当者会議	保健管理センター	青山・相模原(11/22)
		2025年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山・相模原(11/23)
		理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(12/7)
	12月	2025年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(12/7)
2025年	1月	大学入学共通テスト救護待機	受験生	青山(1/18・19)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(1/25)
	2月	一般選抜入試救護待機	受験生	青山(2/7・9・10・11・13・14・15・17・18・19)
	3月	AOGAKU OPEN DAY 救護待機	来校者	相模原(3/15) 青山(3/22)
		学部・大学院学位記授与式救護待機	学生	青山(3/25)

### 【健康管理センター通年業務】

#### \*各種健康診断関連

(学生健康診断、教職員健康診断、特殊健康診断、有害な業務に係る歯科健康診断、特定業務従事者健康診断、雇用時健康診断)

#### \*各種証明書発行(健康診断証明書、英文健康診断証明書等)

#### \*救急対応、応急処置

#### \*内科医、精神科医、保健師・看護師による健康相談

#### \*健康セミナー、健康教育(個別保健指導、集団健康教育)

#### \*産業保健(教職員の休職・復職支援、長時間労働者への面接指導、高ストレス者への面接指導等)

#### \*各種届出及び申請書の作成(医療廃棄物処理、私立大学等経常費補助金申請書等)

#### \*各種統計(労働基準監督署、文部科学省、保健所、大学資料集等)

#### \*感染症対応(COVID-19・インフルエンザ・結核等)

## 2. 学生健康診断

### (1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)

青山キャンパス

対象者数:2024/5/1現在(但し専門職大学院後期入学生7名のみ追加) 受診者数:2024/9/30現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
文学部	学生数	817	851	799	852	1042	2277	3319
	受診者数	780	631	457	505	706	1667	2373
	受診率	95.5%	74.1%	57.2%	59.3%	67.8%	73.2%	71.5%
教育人間科学部	学生数	312	333	307	321	402	871	1273
	受診者数	305	277	240	234	313	743	1056
	受診率	97.8%	83.2%	78.2%	72.9%	77.9%	85.3%	83.0%
経済学部	学生数	596	639	557	595	1669	718	2387
	受診者数	578	400	199	227	939	465	1404
	受診率	97.0%	62.6%	35.7%	38.2%	56.3%	64.8%	58.8%
法学部	学生数	545	568	509	585	1068	1139	2207
	受診者数	529	418	238	297	652	830	1482
	受診率	97.1%	73.6%	46.8%	50.8%	61.0%	72.9%	67.1%
経営学部	学生数	550	583	564	608	1176	1129	2305
	受診者数	544	436	236	301	711	806	1517
	受診率	98.9%	74.8%	41.8%	49.5%	60.5%	71.4%	65.8%
国際政治経済学部	学生数	318	341	364	357	699	681	1380
	受診者数	305	234	166	173	410	468	878
	受診率	95.9%	68.6%	45.6%	48.5%	58.7%	68.7%	63.6%
総合文化政策学部	学生数	263	281	310	295	317	832	1149
	受診者数	255	246	174	168	203	640	843
	受診率	97.0%	87.5%	56.1%	56.9%	64.0%	76.9%	73.4%
大学院生	学生数					195	223	418
	受診者数		111	144	255			
	受診率		56.9%	64.6%	61.0%			
専門職大学院生	学生数					263	175	438
	受診者数		114	102	216			
	受診率		43.3%	58.3%	49.3%			
青山キャンパス合計	学生数	3401	3596	3410	3613	6831	8045	14876
	受診者数	3296	2642	1710	1905	4159	5865	10024
	受診率	96.9%	73.5%	50.1%	52.7%	60.9	72.9%	67.4%
科目等履修生	学生数					49	31	80
	受診者数		10	5	15			
	受診率		20.4%	16.1%	18.8%			

## 相模原キャンパス

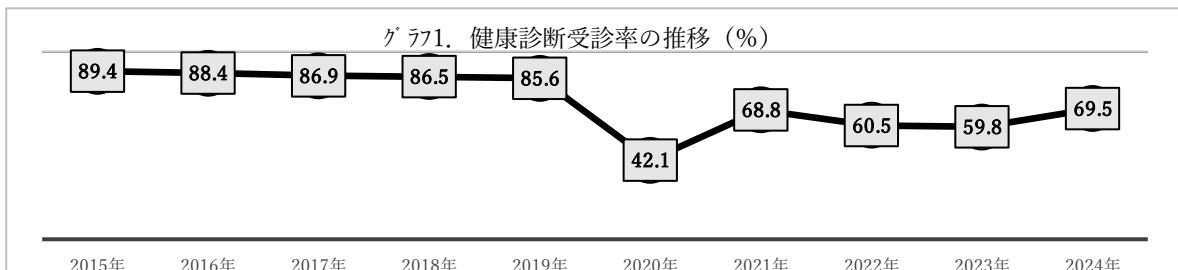
対象者数:2024/5/1 現在(但し大学院後期入学生3名のみ追加) 受診者数:2024/9/30 現在

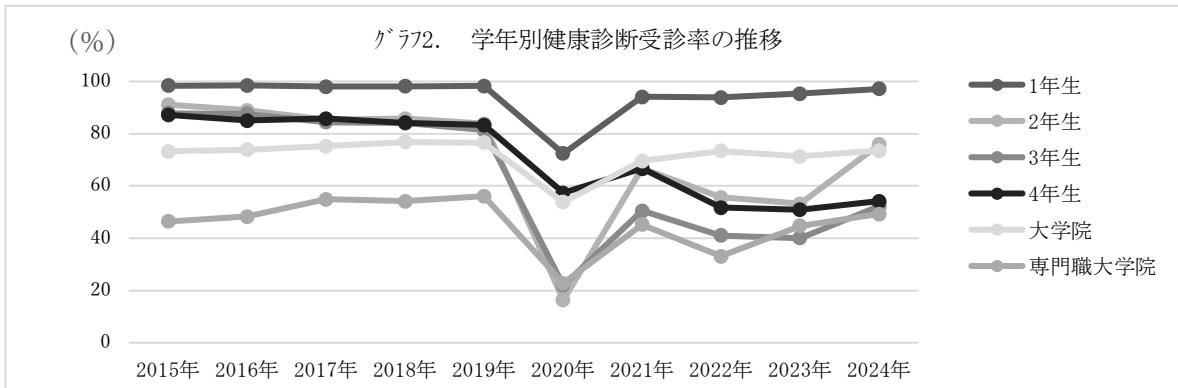
		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
理工学部	学生数	751	719	887	650	2446	561	3007
	受診者数	731	584	472	387	1708	466	2174
	受診率	97.3%	81.2%	53.2%	59.5%	69.8%	83.1%	72.3%
社会情報学部	学生数	238	227	243	219	544	383	927
	受診者数	235	187	136	138	387	309	696
	受診率	98.7%	82.4%	56.0%	63.0%	71.1%	80.7%	75.1%
地球社会共生学部	学生数	225	211	224	219	251	628	879
	受診者数	221	182	143	118	169	495	664
	受診率	98.2%	86.3%	63.8%	53.9%	67.3%	78.8%	75.5%
コミュニティ人間科学部	学生数	249	262	238	246	336	659	995
	受診者数	245	210	151	134	222	518	740
	受診率	98.4%	80.2%	63.4%	54.5%	66.1%	78.6%	74.4%
大学院生	学生数					482	99	581
	受診者数					394	85	479
	受診率					81.7%	85.9%	82.4%
相模原キャンパス合計	学生数	1463	1419	1592	1334	4059	2330	6389
	受診者数	1432	1163	902	777	2880	1873	4753
	受診率	97.9%	82.0%	56.7%	58.2%	71.0%	80.4%	74.4%
科目等履修生	学生数					-	-	-
	受診者数					-	-	-
	受診率					-	-	-

## 大学総計(両キャンパス)

	1年生	2年生	3年生	4年生	学部生合計	大学院生	専門職 大学院生	大学生総合計	科目等 履修生
学生数	4864	5015	5002	4947	19828	999	438	21265	80
受診者数	4728	3805	2612	2682	13827	734	216	14777	15
受診率	97.2%	75.9%	52.2%	54.2%	69.7%	73.5%	49.3%	69.5	18.8%

2023年度の学生定期健康診断はCOVID-19の感染防止対策を継続し、健診項目を学校保健安全法に基づく必要最小限の項目に絞り、且つ大学での健康診断受診を見送った学生への救済措置として、費用負担無しで受診できるフォロー健診制度を設けたが、2024年5月よりCOVID-19の5類感染症移行に伴い、フォロー健診制度を廃止し、学生がより自身の健康状態を把握・管理することができる内科診察を全学年に設けるなど、健診項目の見直しを行った。学生健康診断受診率は青山キャンパス67.4%、相模原キャンパス74.4%（科目等履修生除く）で、両キャンパスとも昨年度より9%以上上昇した。学年別では、全学年とも受診率は上昇していたが、特に2年生は上昇率が22.7%と高かった。





## (2) 学生定期健康診断項目別受診率

青山キャンパス(科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14956	4169	5870	10039	60.6%	72.7%	67.1%
レントゲン	4396	1860	2321	4181	84.2%	97.2%	95.1%
視力	4469	907	1469	2376	43.5%	61.7%	53.2%
内科診察	14956	4169	5870	10039	60.6%	72.7%	67.1%

相模原キャンパス(科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	6389	2880	1873	4753	71.0	80.4	74.4
レントゲン	1830	1131	628	1759	94.6	99.1	96.1
視力	4926	2002	1318	3320	63.5	74.4	67.4
内科診察	6389	2880	1873	4753	71.0	80.4	74.4

## (3) 学生定期健康診断有所見者の経過

健診項目	有所見者数	有所見率	有所見者の経過					
			異常なし	所見あるも問題なし	経過観察		要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)	結果未報告
胸部 レントゲン	131	2.2	5	105	線状影(1)心拡大(3)粒状影(1) 肺門部腫脹(1)索状影(2) 胸膜癒着(1)結節影(3) 炎症性変化(1)囊胞様陰影(2)		心筋症(1)	1 4
内科診察 (循環器)	115	0.8	37	62	頻発性期外収縮(1) PVC2段脈(1) 洞性頻脈(1)		心室性期外収縮(1) 右軸変異(1)T増大(1) 二尖弁逆流(1)	2 7
内科診察 (血液)	84	0.6	54	30	甲状腺(1) 頸部リンパ 腺腫大(7)  貧血(2) 甲状腺(2)		バセドウ病(5) 甲状腺腫(1)橋本病(2) 甲状腺腫瘍(1) 甲状腺結節(1) 無痛性甲状腺炎(1) 腺腫様甲状腺腫(1) 鉄欠乏性貧血(1)	0 5

定期健康診断における有所見者はのべ330人であった。内科診察が全学年の健診項目となつたこともあり昨年より有所見者の延べ人数は増加したが、有所見率は昨年と変化なかつた。精密検査等の結果、異常なし・所見あるも問題なしは271人、経過観察は22人、要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)は18人であった。また未来室や病院受診結果未報告の学生に対しては、体調および受診状況確認のため定期的に学生ポータルや手紙で呼び出しを行い対応した。

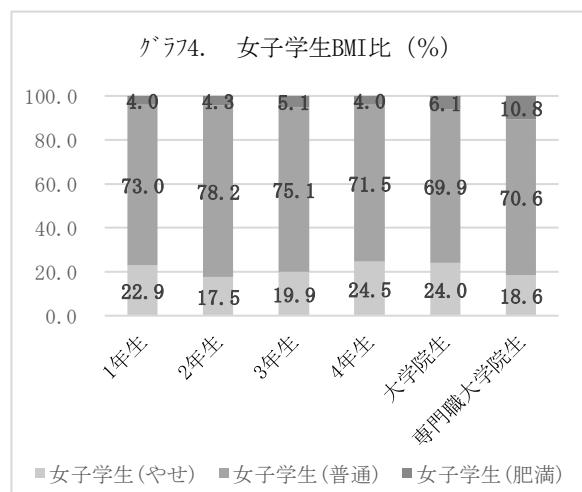
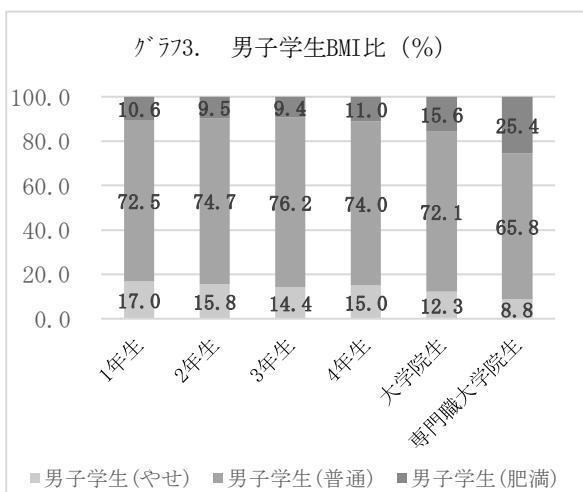
#### (4) 学生の身体状況(肥満とやせ)

##### ①身長・体重・BMIの平均値

	男子学生				女子学生			
	身長(cm)	体重(kg)	BMI	平均年齢	身長(cm)	体重(kg)	BMI	平均年齢
1年生	171.9	62.7	21.2	18.4	158.9	51.1	20.2	18.2
2年生	172.1	62.7	21.1	19.5	159.2	52.1	20.5	19.2
3年生	172.2	63.1	21.3	20.5	159.1	51.9	20.5	20.3
4年生	172.5	63.7	21.4	21.6	159.1	51.2	20.2	21.3
学部生全体平均	172.1	63.0	21.2	19.6	159.0	51.5	20.4	19.5
大学院生	172.5	65.4	22.0	24.2	159.9	52.3	20.4	25.1
専門職大学院生	172.2	68.6	23.1	27.0	160.2	54.3	21.1	25.8
大学全体平均	172.1	63.2	21.3	20.1	159.1	51.6	20.4	19.8
科目等履修生	171.9	68.9	23.3	45.5	156.4	49.8	20.3	45.6

##### ②やせ・普通・肥満学生の割合(%)

	男子学生			女子学生		
	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)
1年生	17.0	72.5	10.6	22.9	73.0	4.0
2年生	15.8	74.7	9.5	17.5	78.2	4.3
3年生	14.4	76.2	9.4	19.9	75.1	5.1
4年生	15.0	74.0	11.0	24.5	71.5	4.0
学部生全体平均	15.8	74.0	10.1	21.2	74.6	4.3
大学院生	12.3	72.1	15.6	24.0	69.9	6.1
専門職大学院生	8.8	65.8	25.4	18.6	70.6	10.8
大学全体平均	15.4	73.8	10.8	21.2	74.4	4.4
科目等履修生	10.0	60.0	30.0	20.0	80.0	0.0



本学学部生における肥満者の割合は、男性 10.1%、女性 4.3%であった。一方、やせの割合は男性 15.8%、女性 21.2%であった。これらの数値を『学生の健康白書 2021』と比較すると、男女ともに「やせ」の割合が高く、「肥満」の割合は低い傾向が認められた。例年同様に BMI が 15 以下の学生には保健師・看護師が個別面談を行い、介入の必要を認めた場合は大学の精神科医との面談の場を設け、病院受診や学生相談センターのカウンセリングにつなげる等の対応を行った。また、BMI が 30 以上の学生に対しては、年 2 回肥満予防に対する意識啓発と生活習慣の改善を目的とした資料の配信を行うとともに、対面での指導を行った。

やせおよび肥満と判定された学生に対しては、面談の機会を設け、生活習慣の改善や健康状態の経過確認を試みているが、一度も面談の呼び出しに応じない学生も一部に見受けられるのが現状である。そのため、呼び出しのタイミングや受診後の経過確認など、より効果的なアプローチ方法の検討が課題となっている。

### (5) 学生定期健康診断 Web 健康調査

#### ①回答者数・回答率 (両キャンパス)

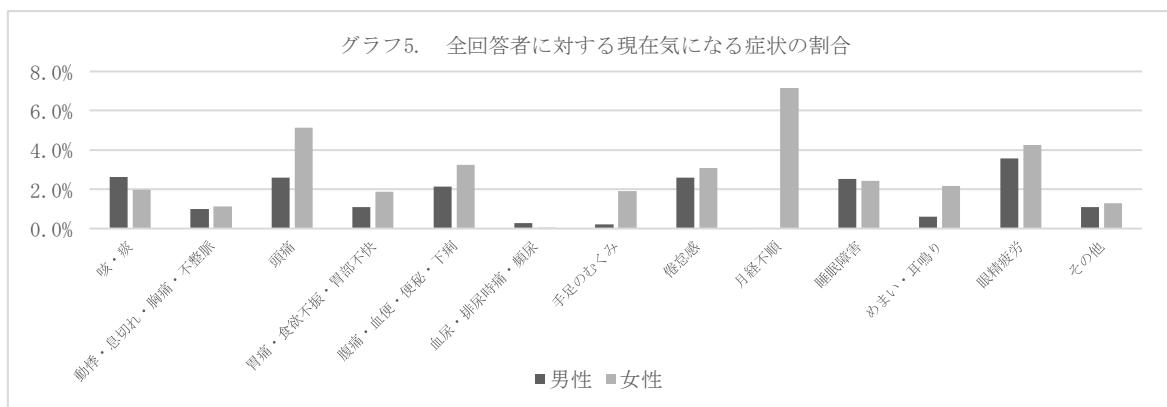
対象者数：2024/5/1 現在 受診者数：2024/9/30 現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院生	専門職 大学院	大学合計	科目等 履修生
青山 キャンパス	学生数	3401	3596	3410	3613	418	438	14876	80
	回答者数	2111	2273	1700	1898	275	247	8504	9
	受診率	62.1%	63.2%	49.9%	52.5%	65.8%	56.4%	57.2%	11.3%
相模原 キャンパス	学生数	1463	1419	1592	1334	581	-	6389	-
	回答者数	977	1080	871	832	408	-	4168	-
	受診率	66.8%	76.1%	54.7%	62.4%	70.2%	-	65.2%	-
合 計	学生数	4864	5015	5002	4947	999	438	20827	80
	回答者数	3088	3353	2571	2730	683	247	12425	9
	受診率	63.5%	66.9%	51.4%	55.2%	68.4%	56.4%	59.7%	11.3%

※Web 回答期間：在校生 2023 年 3 月 1 日～21 日、4 月 1 日～15 日、新入生 2023 年 4 月 1 日～15 日

※指定期間に Web 回答しなかった学生：書面にて保健管理センターに提出

#### ②Web 健康調査回答結果からみる学生の自覚症状の傾向 (両キャンパス)

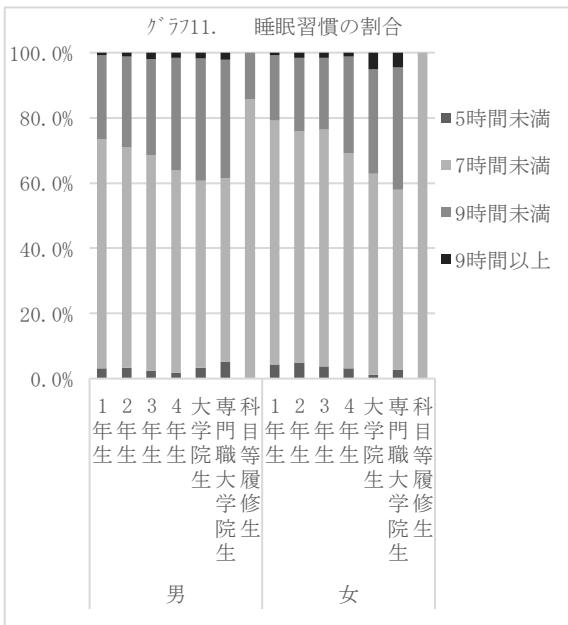
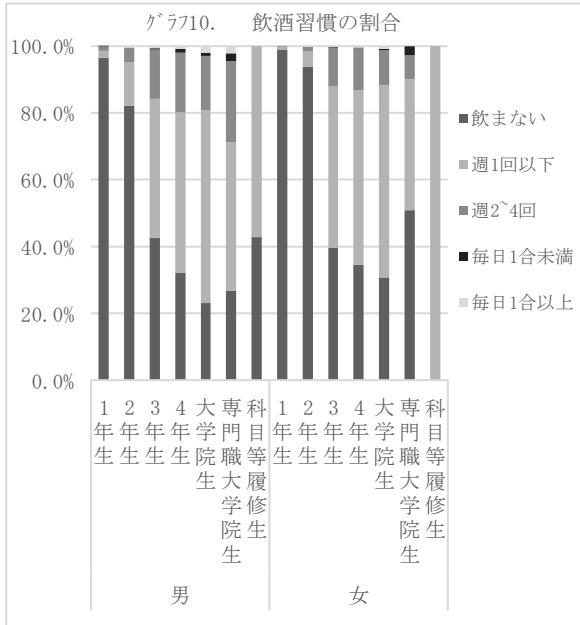
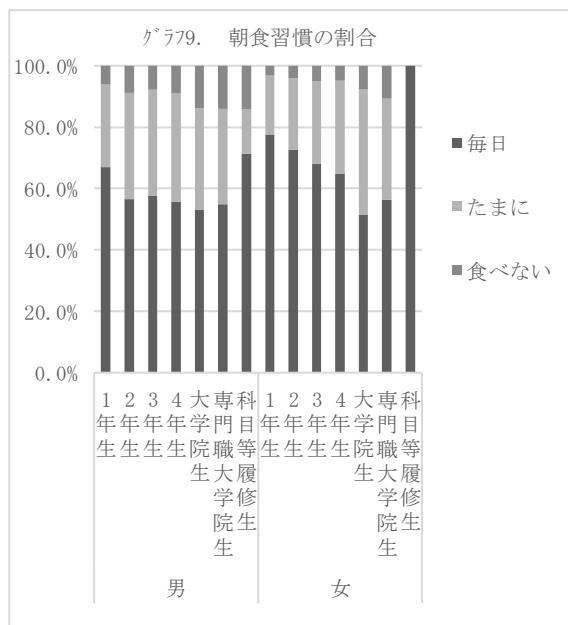
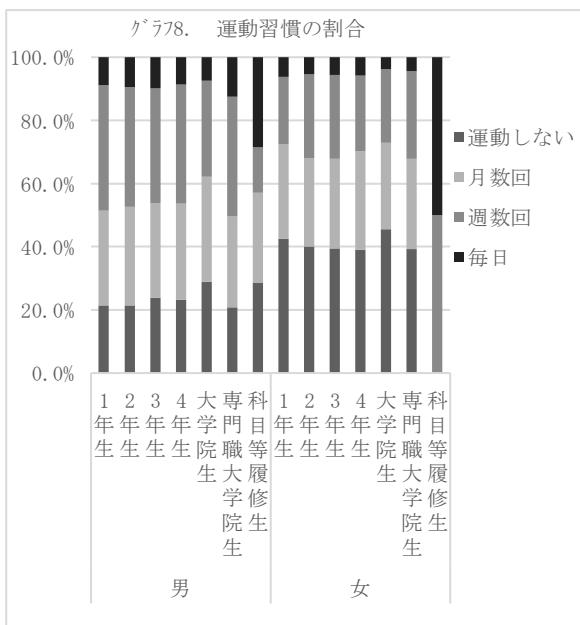
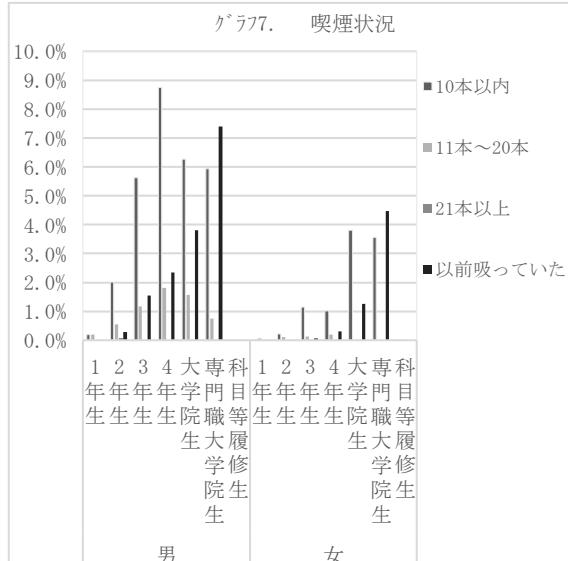
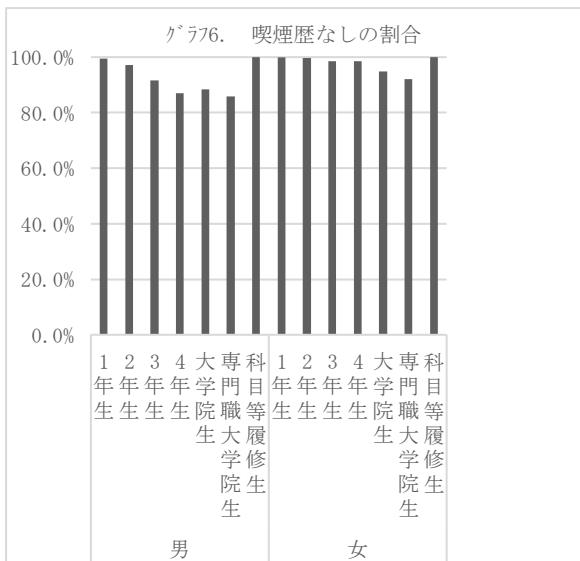


学生の自覚症状をグラフ 5 に示す。男性は「眼精疲労」「頭痛」「倦怠感」「咳・痰」「睡眠障害」の順に症状を自覚している学生が多かった。また、女性は「月経不順」「頭痛」「眼精疲労」「腹痛・血便・便秘・下痢」といった症状を自覚している学生が多かった。昨年度と比較すると、男女ともに「咳・痰」および「腹痛・血便・便秘・下痢」といった症状の訴えが増加傾向にあった。一方、「眼精疲労」に関しては、依然として自覚症状を有する学生の割合は比較的高いものの、2023 年度と比較するとわずかに減少しており、男性で 0.4%、女性で 0.5% の減少が見られた。

今後も、こうした症状の出現状況や変化を継続的にモニタリングし、実態に即した健康教育の実施を通じて、学生の健康保持・増進に努めていく予定である。

### ③学生の生活習慣

生活習慣の傾向をグラフ 6—11 に示す。



**【喫煙習慣】** 喫煙率は男性 5.0% (前年度 5.6%)、女性 0.8% (前年度 1.0%) であった。昨年度と比較すると男性は 0.6% 減少、女性は 0.2% 減少しており、男女ともに喫煙率は減少傾向であった。しかし「学生の健康白書 2021」の全国大学 (4 年制) の学生の喫煙率は男性 4.4%、女性 1.3% であり、本学男子学生の喫煙率は全国と比較すると高かった。

**【運動習慣】** 運動習慣率は男性 77.2% (前年度 77.3%)、女性 59.6% (前年度 60.4%) であった。昨年度と比較すると男女ともに運動習慣率は横ばいである。「学生の健康白書 2021」の全国大学 (4 年制) の学生的運動習慣率は男性 69.2%、女性 54.6% であり、本学学生の運動習慣率は全国と比較すると男女ともに高かった。

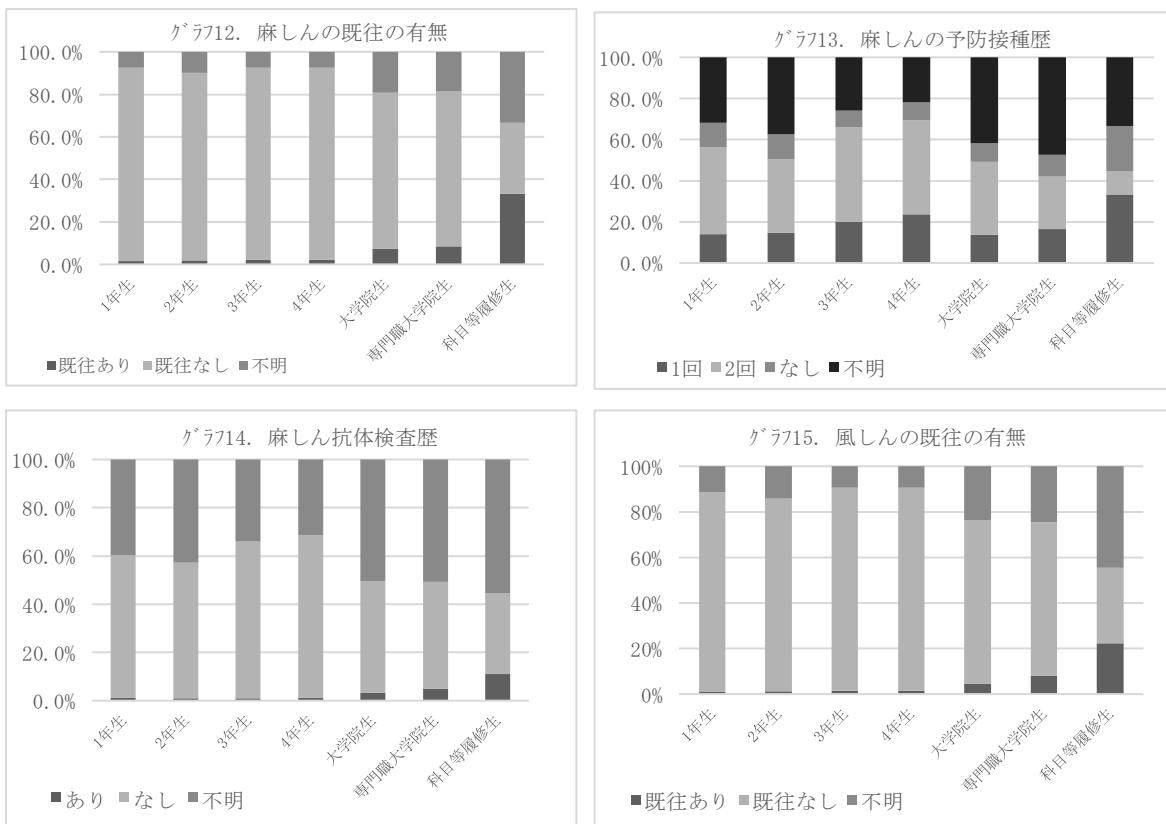
**【朝食習慣】** 毎日朝食を摂取する男性は 58.9% (前年度 57.8%)、女性は 70.1% (前年度 68.7%) であった。昨年度と比較し、男女ともに毎日摂取する学生は増加している。「学生の健康白書 2021」の全国大学 (4 年制) の学生の毎日摂取する割合は男性 50.8%、女性 61.4% であった。本学学生の朝食摂取率は全国と比較すると男女ともに高かった。

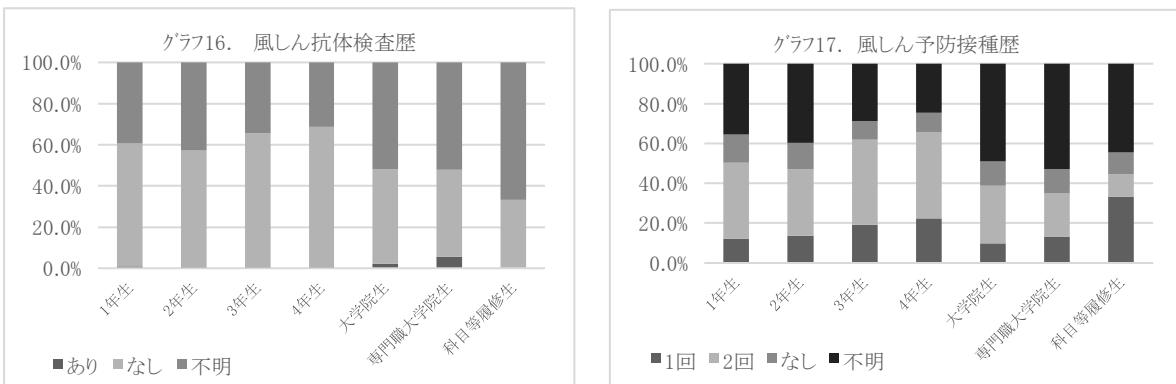
**【飲酒習慣】** 飲酒率は男性 37.8% (前年度 39.3%)、女性 32.8% (前年度 31.9%) であった。昨年度と比較し、男性の飲酒率は低下している。しかし「学生の健康白書 2021」の全国大学 (4 年制) の学生の飲酒率は男性 30.8%、女性 28.8% であり、本学学生の飲酒率は全国と比較すると高かった。

**【睡眠習慣】** 本学学生はいずれの学年においても 5~7 時間以上の睡眠時間が多いため、本学における平均睡眠時間の算出はしていないが、「学生の健康白書 2021」の全国大学 (4 年制) の学生の平均睡眠時間は男性 6.6 時間、女性 6.6 時間であり、本学の学生も全国とほぼ変わらない睡眠習慣と考えられる。

以上、本学学生の運動習慣・朝食習慣は男女ともに全国学生と比べ高く、健康的な生活習慣の傾向がみられる。一方で、依然として男性の喫煙習慣・男女ともに飲酒習慣は全国と比べ高い傾向にあるため、引き続き本学学生の生活習慣の特徴を踏まえた健康教育をしていくことが必要である。

#### ④麻しん・風しんについて





麻しん、風しんについてグラフ 12–17 に示す。麻しんの既往がある学生は 2.4% であり、過去に麻しんの予防接種を 1 回受けた者は 17.5%、2 回受けた者は 41.3%、不明は 30.8% であった。風しんの既往がある学生は 1.6% であり、過去に風しんの予防接種を 1 回受けた者は 16.0%、2 回受けた者は 38.2%、不明は 34.1% であった。麻しん、風しんの既往・接種歴共に前年度と比較しほぼ横ばいであり、厚生労働省の予防接種目標の 95% には到達していない。ただし麻しん・風しんの予防接種歴については不明と回答する学生が 3 割以上いることや、予防接種期間が小学校就学前であり母子手帳を確認しないと接種状況が不明のため、実際との乖離があるのではないかと考えられる。

免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、胎児に先天性風しん症候群を起こすおそれがあり、男女問わず妊娠・出産のライフイベントを迎える学生にとって麻しん・風しんの感染対策は重要な健康課題の一つである。今後も予防接種の必要性に関する啓発活動と接種歴の記録の確認、摂取歴が不明で必要な場合は抗体価の確認が必要であると考える。

## (6) 感染症罹患報告者数

### ① 学校において予防すべき感染症

#### 青山キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19	21	35	71	46	0	8	14	3	8	7	0	0	213
インフルエンザ	14	1	1	1	0	0	2	14	108	19	0	0	160
水痘	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
溶連菌感染症	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜炎	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
アデノウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	0	0	8
合計	37	39	73	47	0	9	21	20	119	26	0	0	391

#### 相模原キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19	17	17	29	37	0	2	5	0	4	2	0	0	113
インフルエンザ	2	4	0	0	0	2	2	4	52	12	0	0	78
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
伝染性单核球症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
急性上気道炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	20	21	32	37	0	4	7	4	57	14	0	0	196

COVID-19 は全国的には 4 月から 8 月にかけて感染者数の増加が認められ、その後いったん減少したものの、11 月から 12 月にかけて再び増加傾向となった。本学においても全国と同様の傾向がみられたが、感染症法上の分類が 5 類に移行した 2024 年度の年間報告者数は 326 名であり、2 類相当の扱いであった期間を含む 2023 年度の 718 名と比較して大幅な減少が認められた。

インフルエンザは全国的には 10 月末頃から流行シーズンに入ったが、本学では 12 月に感染者数のピークを迎え、1 月にはピークアウトする傾向がみられた。2023 年度は 7 月頃から季節外れの流行があり、年間報告者数は 651 名であったのに対し、2024 年度は 238 名と大幅な減少が確認された。

その他の感染症として 2024 年度は、大都市圏を中心にマイコプラズマ肺炎が流行したが、本学における報告者数は 9 名にとどまった。

COVID-19 が収束に向かう中、2024 年はマスク着用、手洗い、手指消毒といった感染症対策が個人の判断に委ねられるようになった。しかし、保健管理センターとしては、今後も感染症の発生動向に注意を払い、各種感染症の予防と拡大防止に努めていく必要がある。

#### (7) 学生の休学者・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	50	25	75
	内科疾患・その他疾患	7	3	10
	合計	57	28	85
病気療養による 退学者数	精神疾患	4	2	6
	内科疾患・その他疾患	1	0	1
	合計	5	2	7
死亡退学者数		3	2	5

全休学生に対する病気療養による休学者は 9.1% で 2023 年度に比べ 1.5% 増加した。そのうち精神的問題で病気療養している者が 88.2% で昨年より 1.9% 増加した。退学者は全部で 167 名いたが、そのうち病気退学者は 7 名、4.2% で昨年より 2.4% 増加した。病気療養による休学・退学ともに増加傾向にあり、休学に至る前や復学してからも安心して学生生活が送れるよう、学生が気軽に相談できる場として今後も保健管理センターの認識を高めていく必要がある。

### 3. 教職員健康診断・産業保健

#### (1) 教職員定期健康診断 項目別受診率 (キャンパス別)

\*総対象者数は、2024年9月1日付データをカウント。項目別受診者数は、定期健康診断+フォローアップ健診(2024年10月7日～2025年2月14日)受診者をカウント。人間ドック受診者数は2025年3月31日までに提出済みの人間ドック受診者数をカウント

青山キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ッ ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免 疫 学 的 便 潜 血 反 応	肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	生 活 調 査
大学本務教員	404	287	58	85.4	284	248	287	286	274	287	286	287	248	233	25	287
大学兼務教員	1	1	0	100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
本部・大学本務職員	375	301	53	94.4	293	176	301	297	276	301	301	301	175	163	24	301
本部・大学兼務職員	70	64	5	98.6	63	46	64	64	56	64	64	64	46	40	9	64
幼稚園・本務兼務職員	17	13	2	88.2	13	9	13	13	12	13	13	13	9	9	0	13
合 計	867	666	118	90.4	654	480	666	661	619	666	665	666	479	446	58	666
有所見者数					45	59	71	20	341	45	31	206	149	13	10	/

相模原キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ッ ク 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免 疫 学 的 便 潜 血 反 応	肝 炎 ウ イ ル ス 検 査	生 活 調 査
大学本務教員	252	194	32	89.7	192	150	194	194	163	194	193	194	149	132	6	194
大学兼務教員	4	3	0	75.0	3	1	3	3	2	3	3	3	1	0	0	3
本部・大学本務職員	102	86	11	95.1	86	64	86	86	72	86	86	86	61	56	6	86
本部・大学兼務職員	45	42	1	95.6	41	33	42	42	36	42	42	42	33	33	7	42
合 計	403	325	44	91.6	322	248	325	325	273	325	324	325	244	221	19	325
有所見者数					35	23	35	17	160	13	17	120	98	9	2	/



9月に実施した教職員定期健康診断は、COVID-19 5類感染症移行後1年が経過し、昨年度と変わらず平常時の方法で実施した。また、受診率向上を目的としたフォローアップ健診（定期健康診断実施日に何らかの理由により健康診断を受診できない場合、期間内であれば自己負担無しに指定の医療機関で健康診断を受診できる制度）は昨年同様、2024年10月7日～2025年2月14日までの期間を設けた。

学院の受診率向上への働きかけが強化された事もあり、2024年度のフォローアップ健診受診者は2022年度の57人から64人に増加し全体受診率も90.8%と上昇した。一方で、重ねての受診奨励にも関わらず健康診断未受診者も一定数おり、今後も引き続き受診率向上への働きかけは必要である。

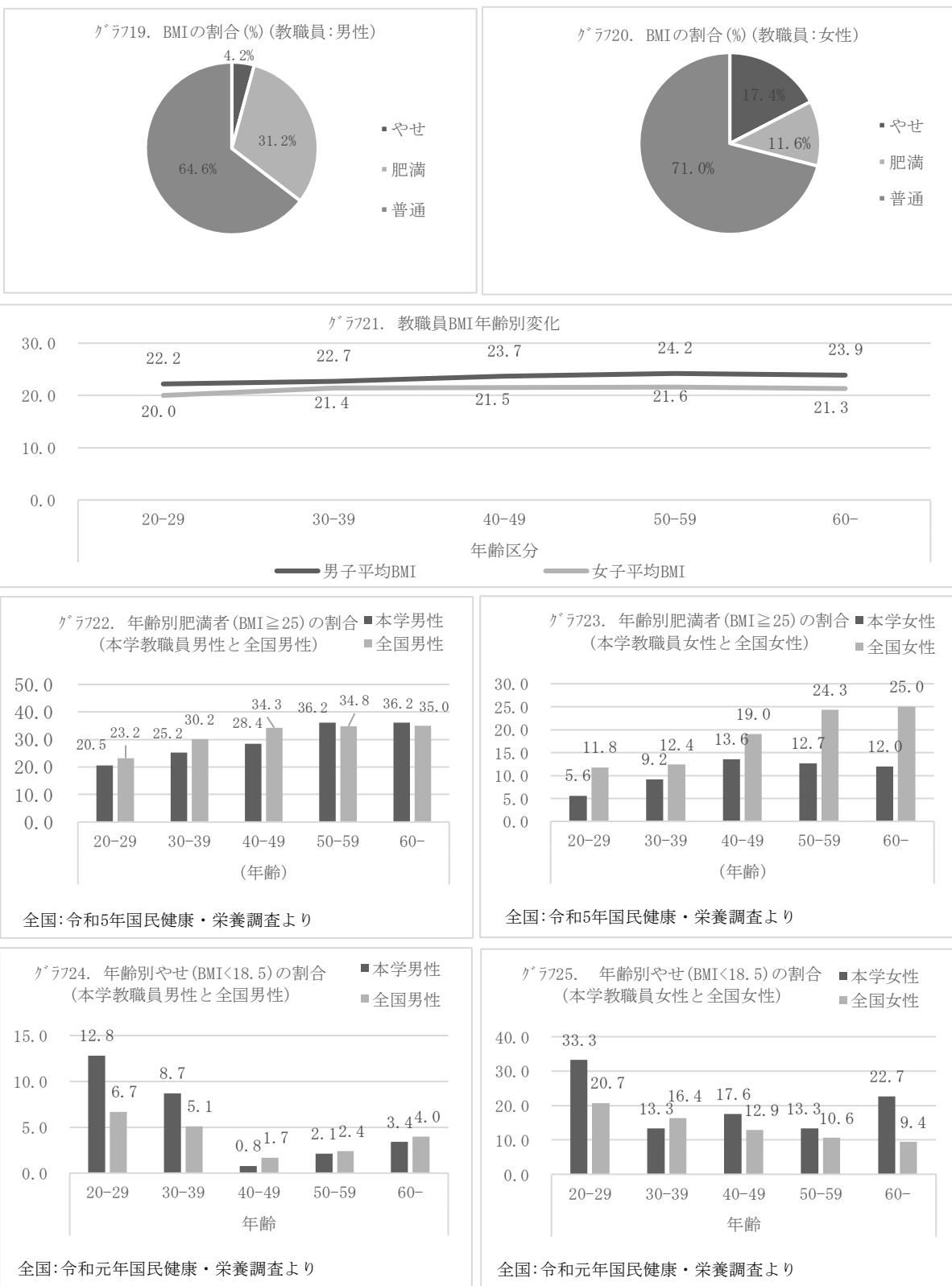
(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)

健診項目	有所見者数 (実人数)	有所見 率	有所見者の経過				
			問題 なし	要経過観察	要治療又は治療中	受診結果 未報告	未来室
胸部 レントゲン	80	8.2%	61	斑状陰影 (1) 結節影 (2) 瘢痕像 (2) 胸膜肥厚 (2) 石灰化 (1) のう胞 (1) 気管圧排 (1) 胸膜癒着 (1) 側弯 (1)	粒状陰影疑い (1) 浸潤性陰影 (1) 縦郭拡張疑い (1)	3	1
心電図	82	11.3%	24	完全右脚ブロック (10) 上室性期外収縮頻発 (1) 第一度房室ブロック (4) ST-T 変化を伴う左室肥大 (1) 持続性WPW症候群 (1) T 平低または二相性 (4) 心室性期外収縮 (1) 不整脈 (1) 異常Q波 (1) 異常Q波疑い (2) ST 低下 (1) 左軸偏位 (1) 高振幅 (3) R 波增高不良 (3) 左室高電位 (1) 高電位差 (1) 平低T (4) 右軸偏位 (5) 低電位差 (1)	心房細動 (1) 不完全右脚ブロック (1) I 度房室ブロック (1) 頻発性心室性期外収縮 (2) 心室性期外収縮頻発 (1) 持続性心房細動 (1) 左室肥大 (1) ST 低下 (1) 右軸偏位 (1)	1	1
血 壓	106	10.7%	9	高血圧 (30)	高血圧症 (48)	16	3
尿検査	37	1.7%	5	尿蛋白 (4) 尿糖 (2) 尿潜血 (2)	糖尿病 (11) 尿蛋白 (2) 腎疾患 (1) 尿潜血 (2) 泌尿器疾患 (1) 境界型糖尿病 (1) 前立腺炎・糖尿病 (1)	3	2
血液検査	501	56.3%	231	脂質異常 (136) 肝機能障害 (64) 高血糖 (21) 貧血 (34) 白血球数異常 (10) 尿酸値異常 (6) 腎機能異常 (16)	脂質異常症 (48) 肝疾患 (21) 糖尿病 (4) 境界型糖尿病 (1) 貧血 (5) 腎疾患 (2) 痛風 (10)	126	64
肝炎ウイルス検査	12	15.6%	2	9	0	1	0
免疫学的 便潜血反応	22	3.3%	8	便潜血陽性 (2) 痢核 (1)	大腸ポリープ (4)	7	0

教職員健康診断における有所見者数は延べ 840 人であった。項目別有所見率は、血液検査の有所見率が 56.3%と最も高い。特に、脂質異常症・肝機能障害・耐糖能異常等の生活習慣病に関連した要経過観察者が多く、例年同様の傾向となっている。引き続き生活習慣病の改善のため健康診断後の保健指導や受診推奨、また予防のため集団健康教育を継続し実施していく必要があると考える。

### (3) 教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学:教職員健康診断受診者 男子567人、女子484人より算出(2024年12月24日現在)



教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性は肥満 31.2% (前年度 33.9%)・やせ 4.2% (前年度 3.2%)、女性は肥満 11.6% (前年度 11.9%)・やせ 17.4% (前年度 19.1%) であった。昨年度と比較して肥満が男性 2.7% 減少・女性 0.3% 減少、やせは男性 1.0% 増加、女性 1.7% 減少した。男性は肥満が減少・やせが増加、女性は肥満・やせ共に減少した。

令和5年「国民健康・栄養調査」と比較した場合、例年同様、肥満は50代以上の男性が全国平均を上回っていた。女性に関しては20~60代全ての年代で全国平均を下回っていた。やせでは男性が20代30

代で全国平均を上回り、女性のやせに関しては20代・40代・50代・60代の年代で全国平均を上回っていた。肥満ややせは運動習慣や食習慣に起因する場合も多く、引き続き生活習慣の改善や疾病の予防につながるような保健指導や健康教育を実施することが必要である。

#### (4) 保健指導

通常の健康診断事後措置（医師面談・受診推奨）と共に、結果通知で保健指導を案内しているが、例年、自主的に保健指導を希望してくる教職員が少ないことが課題となっている。対象者には個別にメールや保健指導の案内を送付するなど、来室を促す対応をとったが、保健指導実施者の増加には至らなかった。対象者が自らの生活習慣を振り返り、健康への関心を持つ機会となり行動変容に導けるよう仕組みづくりから検討し取り組んでいきたい。

#### (5) 教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）

※2024年度内に休職期間がある者及び復職した者の延べ人数

休職・復職事由	青山キャンパス		相模原キャンパス	
	休職（再休職※1）	復職	休職（再休職※1）	復職
精神的疾患	11 (0)	4	5 (0)	2
身体的疾患	2 (0)	1	1 (0)	0
合計	13 (0)	5	6 (0)	2

※1：再休職の定義 復職日から1年10ヶ月を経過するまでの間に療養することとなった場合

上記は療養就業規則上の休職者数である。全教職員に対する休職者の割合は1.4%であり、今年度も精神的・身体的疾患ともに新規の休職者が多くを占めており、休職期間が長期に及ぶケースが増加している。

精神的疾患による復職の際には復職支援プログラムを適用しているが、関連部署との連携のもと段階的に進めることでスムーズに復職に繋がる場合が多い。身体的疾患による復職でも、人事や所属長と連携のもと職場の環境調整を行い、定期的な産業医面談によるフォローや就業上の配慮を一定期間は継続している。引き続き、復職の定着率の増加や再休職の防止に努めていきたい。

#### (6) 長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、労働安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

##### 【面接指導対象者、及び指導項目】

法定外労働時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外労働時間 70時間越え	○	必須
法定外労働時間 60時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

##### 面接指導対象者数

対象者・指導項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
法定外労働時間 70時間超え対象者数		0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	5
法定外労働時間 60時間超え対象者数		0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4	0	7
疲労度チェック回答数		0	1	0	0	0	0	2	1	0	4	4	0	12
医師面談数		0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	6

昨年度は法定外労働時間 70 時間超える者はいなかつたが、今年度は 5 名と増加した。法定外労働時間 60 時間超え延べ 7 名であった。年間行事に伴う繁忙期により、同部署での該当者が発生しているケースが多く、該当者には所属長や人事部が状況を把握し対策を講じるとともに、健康面での配慮として、産業医による面接指導を案内し体調確認を実施している。引き続き、所属長や人事部と連携しながら、長時間労働による脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対処を図りたい。

#### (7) ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）

2014 年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では 2016 年度から実施し、今回 9 回目の実施となった。

【実施期間】2024 年 11 月 5 日（月）～11 月 26 日（月）

【対象】定期健康診断対象者で 2024 年 10 月 1 日時点在籍の教職員

（幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む）

【実施方法】ティーベック（株）ストレスチェック web システムを採用（若干名、紙受検者あり）

【周知方法】教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2024 年度	1438	1090	75.8
2023 年度	1448	1093	75.5
2022 年度	1480	1187	80.2
2021 年度	1484	1117	75.3
2020 年度	1487	1122	75.5
2019 年度	1520	1047	68.9
2018 年度	1508	1006	66.7
2017 年度	1527	1040	68.1

2024 年度の受検率は 75.8% と昨年度より約 0.3% 上昇したものの、ほぼ変わらない結果であった。2022 年度は教員の受検率が上昇した上で受検率 80.2% へ上昇したが、COVID-19 の 5 類感染症移行の影響によって 2023 年度は対面授業がメインとなり業務量が増加したことで受検率が減少した可能性が考えられ、2024 年度も同様の傾向がみられた。今後も受検案内に関する周知や推奨方法を検討していく必要がある。

ストレスチェックの結果に関しては、学院全体の傾向として、改善している項目が多かった。しかしそのなかでも、例年数値が低く推移している仕事の負担（量・質）については、若干の改善が見られたものの低調で、負担の軽減の取り組みを継続する必要がある。心身の反応の項目は、概ね良好であるとの結果であったが、その中でも「活気」「疲労感」が下ってきており、全体的に元気がなくなってきたとの結果だった。集団分析結果は基幹部署から所属長にフィードバックされているが、今後はフィードバック後の対応等含め、職場環境改善に取り組む必要があるであろう。

#### 4. 集団健康教育

	健康教育テーマ	実施日	講師・実施方法場所	対象者・参加人数
禁煙	世界禁煙デーイベント in 青山学院大学青山キャンパス ポスター・模型掲示/リーフレット配布/動画放映/ニコチン依存度チェック	5/30	17号館1階ロビー	学生・教職員(来場者397人)
	短時間禁煙支援(CO チェッカーによるCO濃度測定)	9/24-27	青山キャンパス教職員健診会場	教職員100名
	DVD「親子でたばこについて考える」放映	9/24-27	青山キャンパス教職員健診会場	教職員
運動	ウォーキングチャレンジ2024 主催:全国大学保健管理協会 主管:保健管理センター 協力:学生生活課・スポーツ支處課	11/1-11/30		学生35名・教職員46名
	運動動画とフィットネスセンターのご案内	5/7-5/31	ポータル配信	全学生
食事	コンビニでもバランス食 ポスター掲示	9/24-9/27	青山キャンパス教職員健診会場	教職員
	DVD「魅力いっぱい!野菜のある食卓」放映	9/24-9/27	青山キャンパス教職員健診会場	教職員
	「学食だより」「健康カレンダー」	毎月	栄養士作成ポータル配信	全学生・教職員
	栄養士監修弁当レシピ	毎月	栄養士作成ポータル配信	学生(青山)・教職員
BMI	夏だより「夏太りを防ぎましょう」	7/31-9/19	ポータル配信	BMI25以上の学生
	冬だより「冬の肥満予防作戦」	12/11-12/31	ポータル配信	BMI25以上の学生
HPV キャッチアップ接種	渋谷区医師会主催「HPV感染とその予防 HPVワクチン接種の意義」講演会のご案内	4/17-5/10	ポータル配信	全学生・教職員
	健康公開講座(協力:MSD株式会社) 子宮頸がん・HPVキャッチアップ接種に関する講座	7/3	富益坂刈レディースクリニック 長岡美紀院長(17305教室)	講座参加学生12名 アーカイブ配信149回閲覧
	HPVキャッチアップ接種期間延長のお知らせ	2/5-3/31	ポータル配信	全学生
女性の健康	#One More Choiceプロジェクトヘルスサポート (産婦人科専門医への無料健康相談) 共催:株式会社ツムラ	12/4	富益坂刈レディースクリニック 長岡美紀院長(17304教室)	学生5名 (対面2名・オンライン3名)
熱中症対策	熱中症対策アンバサダー講座受講ご案内	3回配信 (5/6・7月)	主催:大家製薬 オンデマンド講座	全学生・教職員対象 144名申し込み、100名修了、 80名アンバサダー認定
健康情報	健康情報ポータルサイト Pep Up のご案内 「ポイ活しながら健康管理」	6/13-7/6 12/20-1/18	ポータル配信	教職員・私学共済加入者
	体験型健康啓発(ストレートネット・健康食品) ポスター掲示、頭の重さ体験、パッケージ表示の見方	9/25-1/31	保健師・看護師作成	相模原キャンパス教職員健診会場・相模原保健センター前
	コラム ウォーキングをはじめよう 働き世代からはじめる認知症予防法	10月 11月	ポータル配信 看護師作成 保健管理C嘱託医	教職員
	健康だより 保健管理センター紹介(4月号)/子宮頸がんワクチン(5月号) 頭痛(6月号)/月経不順(7月号)/薬(8月号)/月経不順(9月号) 運動(10月号)/不調(11月号)/適正飲酒(12月号) 手洗い強化月間(1月号)/全国生活習慣病月間(2月号) 自杀対策強化月間(3月号)	毎月	ポータル配信	全学生
教職員のための健康オンラインセミナー	①認知症の予防のすゝめ ②貧血予防のすゝめ ③心臓病の兆候 ④禁煙のすゝめ	11/6 11/19 11/29 12/5	保健C嘱託医(オンライン) 保健C嘱託医(オンライン) 保健C嘱託医(オンライン) 保健C嘱託医(オンライン) *オンライン実施後 2024/12/23~1/31アーカイブ配信	教職員(6名、録画視聴185回) 教職員(8名、録画視聴9回) 教職員(12名、録画視聴12回) 教職員(7名、録画視聴3回)
教職員健康診断結果に関するセミナー	①BMI・腹囲②血圧③脂質代謝④肝機能 ⑤腎機能⑥血糖⑦尿酸⑧血液一般(貧血)	11/14-掲載	保健C作成 教職員ポータル掲載	全教職員 ①35回②40回③169回④36回 ⑤44回⑥17回⑦12回⑧38回
特定保健指導	特定保健指導のご案内	12月		教職員・私学共済加入者

過去5年の学生健康診断・教職員健康診断結果より、学生に関しては喫煙率の上昇(学部3年以上)・運動量の漸減・BMIの微増、教職員に関しては喫煙率の横ばい・肥満率の増加がみられていた。上記を踏まえ今年度は喫煙率・肥満率の低下に着目し、学生・教職員のヘルスリテラシー向上を目的とした健康教育を実施した。

禁煙に関しては禁煙イベントや教職員健康診断会場における禁煙短時間支援保健指導の実施により、学生・教職員のたばこに対する考え方や思いについて直接話を聞く貴重な機会であった。喫煙しない、禁煙しようと思えるきっかけづくりや、対象者が正しい情報を取得し、メリット・デメリットを理解した上で意思決定できるような健康教育・環境づくりの重要性を実感した。また学院全体を巻き込んだ禁煙に対する風土づくり・禁煙対策は、今後の課題である。運動については全国大学保健管理集会主催のウォーキングイベントに学院として参加し、イベントをきっかけに運動に対するきっかけづくりとなり来年

度も継続して取り組んでいきたい。また今年度のトピックスとして、HPV ワクチンキャッチアップ接種に関して公費での接種が最終年度であったため、学生への普及啓発活動として、製薬会社と協力し産婦人科専門医による子宮頸がん・HPV ワクチンに関する健康公開講座等を行った。またヘルスリテラシー向上の取り組みとしては、教職員健康診断有所見動画の配信や特定保健指導の案内、学生へは企業と共に催した女性の健康に関する無料健康相談を今年度初めて実施した。

また健康教育実施評価目的に教職員対象に健康教育に関するアンケートを実施した。ウォーキングイベントへの評価が高かった。受動喫煙対策に関する意見もあったため、他部署と連携した対策が実施できることよいと考える。健康セミナーについては内容・配信方法について意見があつたため、できるだけ多くの対象者が参加しやすい・参加したいと思える内容・方法について検討していくことが課題である。今年度の評価も踏まえ、引き続き学生、教職員の現状・ニーズを踏まえ、継続した健康教育の実施を行っていきたい。

## 5. その他の法定健康診断

### (1) 特殊健康診断（相模原キャンパス）

#### ①特殊健康診断実施者数

(2025年3月31日現在)

		対象者数			受診者数			受診率		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期	特殊健康診断	35	283	318	35	283	318	100%	100%	100%
内 訳	電離放射線	33	225	258	33	225	258	100%	100%	100%
	有機溶剤	8	-	8	8	-	8	100%	-	100%
	特定化学物質	7	-	7	7	-	7	100%	-	100%
	有機溶剤・特化物	-	95	95	-	95	95	-	100%	100%
秋期	特殊健康診断	35	-	35	35	-	35	100%	-	100%
内 訳	電離放射線	33	-	33	33	-	33	100%	-	100%
	有機溶剤	8	-	8	8	-	8	100%	-	100%
	特定化学物質	7	-	7	7	-	7	100%	-	100%
	有機溶剤・特化物	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### ②電離放射線健康診断結果

(2025年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし(回)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春 期	白血球数・白血球百分率	33	225	5	45	15.2	20.0	3	40	2	5	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	33	225	2	15	6.1	6.7	2	9	0	6	0	0	0	0
	白内障に関する眼の検査	33	225	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	33	225	0	4	0.0	1.8	0	4	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	33	225	3	12	9.1	5.3	3	11	0	1	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康障害	33	225	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	白血球数・白血球百分率	33	-	5	-	15.2	-	5	-	0	-	0	-	0	-
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	33	-	5	-	15.2	-	5	-	0	-	0	-	0	-
	白内障に関する眼の検査	33	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	皮膚の検査	33	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	33	-	2	-	6.1	-	2	-	0	-	0	-	0	-
	電離放射線使用による健康障害	33	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

### ③有機溶剤健康診断結果

※学生は特定化学物質健康診断の結果も兼ねて集計

(2025年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし(人)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春 期	作業条件の簡易な調査	8	95	4	65	50.0	68.4	—	—	—	—	—	—	—	—
	赤血球数・血色素量	—	95	—	6	—	6.3	—	3	—	2	—	0	—	1
	肝機能検査	1	95	0	5	0.0	5.3	0	1	0	2	0	2	0	0
	尿代謝物検査	4	—	0	—	0.0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	自覚症状	8	95	0	8	0.0	8.4	0	8	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	8	95	0	5	0.0	5.3	0	5	0	0	0	0	0	0
	有機溶剤による健康障害	8	95	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	作業条件の簡易な調査	8	—	4	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	赤血球数・血色素量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	肝機能検査	1	—	0	—	0.0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	尿代謝物検査	4	—	0	—	0.0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	自覚症状	8	—	0	—	0.0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	他覚症状	8	—	0	—	0.0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	有機溶剤による健康障害	8	—	0	—	0.0	—	0	—	0	—	0	—	0	—

### ④特定化学物質健康診断結果

(2025年3月31日現在)

		実施者数	有所見者数	有所見率	所見あるも問題なし(人)		経過観察(人)	再検査(人)	病院受診(人)	
					教職員	教職員			教職員	教職員
春 期	作業条件の簡易な調査	7	3	42.9	—	—	—	—	—	—
	自覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿潜血	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0	0	0
	胸部X線直接撮影	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマクリット値	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	肝機能検査	6	3	50.0	1	2	0	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	鼻の検査	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0
秋 期	特定化学物質による健康障害	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	作業条件の簡易な調査	7	3	42.9	—	—	—	—	—	—
	自覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿潜血	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0	0	0
	胸部X線直接撮影	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマクリット値	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	肝機能検査	6	1	16.7	1	0	0	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	鼻の検査	1	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	7	0	0.0	0	0	0	0	0	0

前期・後期ともに学内で健康診断を実施した。健康診断受診率は100%であり、業務起因性を有すると判断されたケースはなかった。

## (2) 雇入れ健康診断

### ①雇入れ時健康診断受診者数

\*外部医療機関にて実施\*

(2024年度採用月でカント)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	17	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	19
大学	74	2	7	2	0	7	7	2	0	1	3	4	109
高等部	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
中等部	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
初等部	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
幼稚園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	102	2	7	3	0	7	8	2	1	2	3	4	141

### ②雇入れ時健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	13	0	10	3	異常なし (3)
心電図	13	0	13	0	
血圧	9	0	7 (主治医 あり)	2	校医相談し経過観察 (1) 未報告 (1)
尿検査	1	0	1 (主治医 あり)		
血液検査	62	0	47	16	未報告 (11) 内服開始 (2) (脂質1、貧血1) 経過観察 (3) 異常なし (1)

### (3) 特定業務従事者健康診断

2024年度の特定業務従事者健康診断の対象者は5名で、受診率は100%であった。有害な業務に係る歯科健康診断の対象者は1名で、受診率は100%であった。春は特殊健康診断時に、秋は教職員定期健康診断時に併せて実施した。

## 6. 健康診断証明書発行業務

### (1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2025年3月31日現在)

月内訳			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動 発行 内訳	1年生	人数	7	14	26	17	6	3	10	4	2	2	0	1	92
		枚数	7	15	26	17	7	4	10	4	2	2	0	1	95
	2年生	人数	5	12	15	6	4	6	3	3	2	1	0	0	57
		枚数	5	12	15	6	4	6	3	3	2	1	0	0	57
	3年生	人数	5	16	4	24	27	38	19	33	17	13	9	23	228
		枚数	5	16	4	26	27	40	20	33	18	13	9	29	240
	4年生	人数	76	125	86	75	28	74	25	11	15	11	13	15	554
		枚数	80	158	90	85	31	77	27	12	15	12	14	15	616
	大学 院 生	人数	4	3	5	5	1	4	2	2	2	2	0	3	33
		枚数	4	3	6	5	1	4	2	2	2	2	0	3	34
	科目等 履修生	人数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		枚数	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
窓口発行 含英文証書	人数	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	枚数	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計	人数	98	171	136	127	66	128	59	53	38	29	22	42	969	
	枚数	102	205	141	139	70	134	62	54	39	30	23	48	1044	

(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2025年3月31日現在)

内訳			月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動 発行 内 訳	1年生	人数	1	3	4	4	0	0	3	2	0	0	0	1	18	
		枚数	1	3	4	4	0	0	3	2	0	0	0	1	18	
	2年生	人数	2	7	3	4	0	1	0	0	1	0	1	0	19	
		枚数	2	7	3	5	0	1	0	0	1	0	1	0	20	
	3年生	人数	0	2	5	4	10	3	9	4	10	5	7	11	70	
		枚数	0	2	5	4	10	3	10	4	11	5	7	12	73	
	4年生	人数	27	43	33	25	4	20	7	4	2	2	2	4	173	
		枚数	27	56	36	25	4	21	7	5	3	2	2	4	192	
	大学 院 生	人数	7	14	8	3	3	4	8	4	1	4	2	6	64	
		枚数	7	15	9	3	3	4	8	4	1	4	2	6	66	
	科目等 履修生	人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		枚数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
窓口発行 含英文診断書	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	人数	37	69	53	40	17	28	27	14	14	11	12	22	344		
	枚数	37	83	57	41	17	29	28	15	16	11	12	23	369		

2024年度の証明書発行状況の総数は両キャンパスともに、証明書発行人数および証明書発行枚数とも昨年度と比較してやや減少した。学年別にみると、証明書の発行人数および発行枚数とも1年生、4年生が減少し、2年生、3年生が増加した。

健康診断証明書の主な使用用途は就職活動であり、一人あたりの平均発行枚数は1.1枚であった。

## 7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

### (1) 青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2025年3月31日現在)

所属	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男	106	160	109	74	8	30	61	37	70	67	5	8	735
	女	229	250	188	160	10	38	92	98	123	95	5	11	1299
教職員	男	41	36	28	42	13	29	39	58	48	29	27	26	416
	女	32	15	28	25	14	32	93	62	45	29	30	29	434
その他		2	2	5	3	5	4	6	4	11	7	10	11	70
合 計		410	463	358	304	50	133	291	259	297	227	77	85	2954

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	5	2	3	1	0	0	0	1	0	8	0	0	20
	検尿	1	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	38
	検便	0	0	1	16	5	14	27	5	0	0	0	0	68
	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視力	19	36	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	58
	心電図	0	2	2	0	0	0	0	1	0	3	0	1	9
	計測	12	15	14	10	0	1	10	3	28	21	2	0	116
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	47	73	75	77	40	72	81	53	42	54	19	41	674
	体脂肪計	0	6	10	0	0	0	0	0	0	7	0	0	23
処置	投薬	1	2	0	0	0	1	2	1	2	0	1	0	10
	処置	19	30	43	21	9	9	21	19	22	16	3	2	214
	ベッド休養	38	57	55	51	4	9	46	33	25	17	4	7	346
	医師面談	114	43	26	33	1	22	30	41	46	23	15	22	416
	病院紹介	15	8	11	11	0	7	5	10	10	4	3	3	87
	救急車	1	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	8
	病院搬送	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	保健指導	12	6	11	1	0	0	6	25	4	4	1	1	71
	問診調査・相談	177	257	204	154	28	67	107	119	146	98	45	39	1441
	電話・メール対応	25	20	16	21	7	14	20	26	9	25	9	10	202
合 計		487	559	477	399	94	217	393	338	335	280	102	126	3807

(症状・疾患別利用者数)

症状・疾患	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	5	8	15	4	0	2	7	7	2	6	2	1	59
	感冒	14	15	22	9	0	1	18	9	38	17	0	0	143
	頭痛	5	13	8	10	1	1	7	4	4	2	2	1	58
	体調不良	24	34	14	30	4	3	26	12	8	10	4	5	174
	生理痛	3	4	4	9	0	5	2	1	4	5	1	0	38
	外傷	11	16	20	4	4	3	10	9	9	3	2	1	92
	腰痛・筋肉痛	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4
	熱傷	1	1	2	2	1	1	0	1	1	1	0	0	11
	COVID-19関連	20	29	70	81	6	6	20	9	5	17	1	0	264
	その他	8	20	15	34	7	25	23	20	84	61	5	2	304
その他の疾患	皮膚疾患	3	3	6	1	0	0	4	1	2	1	0	1	22
	昆虫刺傷	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	6
	整形外科疾患	3	5	8	13	0	6	9	7	5	5	1	0	62
	眼疾患	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	耳鼻科疾患	4	3	11	3	0	0	4	3	6	1	0	0	35
	泌尿器科疾患	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	口腔疾患	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	4
	精神衛生	15	10	16	13	0	6	17	15	13	8	0	3	116
合 計		119	164	215	215	25	59	152	101	183	137	19	14	1403

2024年度の保健管理センター利用者数は2,954名であった。昨年度に比較しCOVID-19関連業務が大幅に減少した。また、保健管理センターを利用する学生数も約200名減少した。多くの学生が健康的に大学生活を送れている結果とすれば、利用者の減少は好ましい傾向と考えられる。しかし一方で、保健管理センターの存在や利用方法について十分に認知されていない可能性も否定できない。特に、どのような時に利用できるかを知らずに支援を受ける機会を逃している学生もいると考えられるため、学生への周知方法や広報手段について再検討し、より多くの学生に保健管理センターの機能と役割を理解してもらえるよう努めていく必要がある。

## (2) 相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2025年3月31日現在)

所属 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生 \ 男	95	74	49	54	5	11	19	20	32	24	11	3	397
学生 \ 女	59	61	34	35	4	3	20	14	19	6	0	1	256
教職員 \ 男	12	9	8	9	2	15	15	28	30	12	8	18	166
教職員 \ 女	7	6	5	5	3	10	30	33	12	12	6	9	138
その他	0	1	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	6
合 計	173	151	96	105	14	39	84	96	93	56	25	31	963

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	6	11	16	17	1	0	1	5	1	1	0	59
	検尿	1	0	0	0	0	0	20	3	0	0	0	24
	検便	0	0	0	5	1	5	16	0	0	0	0	27
	血液	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	視力	12	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	15
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計測	9	25	39	32	2	0	10	6	21	4	0	148
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	自動血圧計	72	78	61	37	8	16	35	37	40	23	17	451
	体脂肪計	9	12	20	6	0	0	1	4	33	11	8	111
処置	投薬	1	0	0	1	1	0	1	1	1	2	0	8
	処置	10	7	12	9	2	3	11	5	4	6	4	73
	ベッド休養	6	13	19	22	0	0	9	4	3	3	1	80
	医師面談	54	7	8	11	1	3	8	18	8	9	7	140
	病院紹介	20	7	9	7	0	3	4	10	6	4	4	76
	救急車	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5
	病院搬送	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	保健指導	4	23	19	1	0	0	1	20	15	1	0	87
	問診調査・相談	133	115	59	48	9	33	40	68	63	41	12	645
	電話・メール対応	6	3	5	3	1	2	3	1	3	6	2	38
合 計	344	303	270	201	26	65	160	183	198	114	55	72	1991

(症状・疾患別利用者数)

症状・所見 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	2	0	3	4	0	0	1	1	1	0	0	13
	感冒	5	3	2	5	0	0	1	1	6	2	0	25
	頭痛	0	3	2	4	1	0	2	0	2	1	0	17
	体調不良	4	9	13	14	0	0	4	1	6	1	0	53
	生理痛	0	0	0	2	1	0	2	0	0	1	0	6
	外傷	4	4	6	6	2	3	5	2	3	1	5	41
	腰痛・筋肉痛	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	熱傷	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	COVID-19関連	1	5	3	10	0	0	0	0	2	0	1	22
	その他	2	10	9	10	1	0	1	6	8	10	1	58
その他の疾患	皮膚疾患	0	0	0	0	0	0	2	3	0	3	0	8
	昆虫刺傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科疾患	4	2	3	5	0	0	1	1	4	2	0	23
	眼疾患	0	0	1	2	0	0	1	0	2	0	1	7
	耳鼻科疾患	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	泌尿器科疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	口腔疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神衛生	5	6	4	9	0	2	10	9	6	6	3	61
合 計	28	42	48	71	5	5	33	26	37	32	16	1	344

COVID-19の感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより、保健管理センターで実施していたフローラップ健診（学生）は2023年度で終了。それに伴い、計測や視力等の検査数は大幅に減少した。他の項目における保健管理センターの利用内容別件数、症状・疾患別利用者数に大きな変化はなかったが、保健指導の実施件数はBMI（学生）を中心に増加した。

相模原キャンパスでは、保健管理センターとスチューデントセンターに1台ずつ自動血圧計を設置している。血圧を自主的に測定する者が年間を通して一定数確認されていることから、健康に触れる機会を教職員や学生が立ち寄りやすい場所に設けることは、健康意識の向上に繋がっていると思われる。

## 8. 各キャンパス業務内容利用状況

### (1) 青山キャンパス

#### ①保健管理センター全来室者数

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		9901	—	—	—	—	626	—	—	—	—	—	—	10527
フォローアップ健診者数	教職員	—	—	—	—	—		1	4	4	11	20	—	40
学生外部受診者数		39	28	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	132
証明書発行者数(窓口)		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
救急処置・検査等		410	463	358	304	50	133	291	259	297	227	77	85	2954
自動血圧計		47	73	75	77	40	72	81	53	42	54	19	41	674
体脂肪計		0	6	10	0	0	0	0	0	0	7	0	0	23
合 計		10359	543	443	381	90	832	372	312	339	288	96	126	14181

\*フォローアップ 健診者数・学生外部受診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

#### ②精神科医面談者数\*教職員の面談にはセカンダリーも含む

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生		3	6	5	3	0	1	2	2	4	3	0	2	31
教職員		8	13	11	23	1	13	21	10	25	11	5	19	160
合 計		11	19	16	26	1	14	23	12	29	14	5	21	191

#### ③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	1	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	7
	教職員	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	その他	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
合 計		2	2	5	2	0	1	1	1	0	0	0	0	14
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	疾病	2	2	5	2	0	1	1	0	0	0	0	0	13
対応	救急車依頼	1	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	8
	病院搬送	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
合 計		2	2	5	2	0	1	1	1	0	0	0	0	14

2024年度は、COVID-19の感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、学生健康診断の受診者数は昨年度の8,111人から9,901人へと増加した。しかし受診率は67.4%にとどまり、COVID-19以前の受診率85.6%には回復しておらず、健康診断の周知方法や実施体制について再検討を行い、より多くの学生に受診を促す方策が必要である。一方で教職員健康診断の受診率は学生健康診断の受診率に比較すると90.4%と高水準を維持しており、フォローアップ健診や人間ドックの利用者数も含め、作年度とほぼ同様の実施状況であった。

精神科医による面談件数は、学生が昨年度の39件から31件に減少した反面、教職員は昨年度の111件から160件と大きく増加した。教職員に関してはストレスチェックやラインケア、セルフケア研修等の制度を活用する事で、メンタルヘルス不調の早期発見と適切な対応が可能になるが、引き続き安全衛生委員会等と連携しながら、教職員が安心して働く体制づくりを進めていく必要がある。

学生による救急搬送要請は3件で、いずれも体調不良が要因であった。加えて、イベント等で来校していた一般来場者に対しても2件の救急搬送が行われた。いずれのケースにおいても速やかに医療機関へ搬送され、適切な治療に繋がっている。

(2) 相模原キャンパス

①保健管理センター全来室者数

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		4697	322	1	1	0	334	4	1	0	0	0	0	5360
フォローアップ健診者数	教職員	0	0	0	0	0	0	5	1	7	7	4	0	24
学生外部受診者数		14	16	24	0	0	0	1	0	0	0	0	0	55
証明書発行者数(窓口)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急処置・検査等		173	151	96	105	14	39	84	96	93	56	25	31	963
自動血圧計		72	78	61	37	8	16	35	37	40	23	17	27	451
合 計		4942	551	158	143	22	389	123	134	133	79	42	58	6774

\*フォローアップ 健診者数・学生外部受診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

②精神科医面談者数

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生		3	2	3	5	0	1	4	3	2	2	2	1	28
教職員		0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
合 計		3	2	3	6	0	1	5	4	3	2	2	1	32

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2025年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 分	学生	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	5
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		1	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	6
原 因	事故	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	疾病	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
対 応	救急車依頼	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	5
	病院搬送	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計		1	1	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	7

2024年度は、相模原キャンパス全学生の73.5%が4月に実施した学生定期健康診断を受診した。外部受診者を合わせると学生の健診受診率は74.4%と2023度よりは増加したが、3、4年生の受診率が50%台にとどまっている現状があり、健康診断の目的に関する普及啓発は引き続き必要である。教職員健康診断の受診率は91.6%で昨年度とほぼ同率であったが、フォローアップ健診を利用した者が16件から24件に増加しており、フォローアップ健診の実施は受診率の向上に一定の効果があると考えられる。

年間の精神科医面談者数（学生）は37件から28件に減少。保健管理センターが介入した救急車要請件数、病院搬送数は昨年度と同数で、いずれも速やかに医療機関に搬送され、治療に繋がっている。

## 9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

2024年	キャンパス	行事	男	女	合計	症状・所見
4/1(月)	青	入学式	0	1	1	胃痛(1)
5/25(土)	相	ペアソーシャルエンド企画キャンパス見学会	1	0	1	体調不良(1)
6/8(土)	青	ペアソーシャルエンド企画キャンパス見学会	0	0	0	
7/14(日)	相	オープンキャンパス	0	1	1	体調不良(1)
7/20(土)	青	大学院説明会	0	0	0	
8/1(木)・2(金)・3(土)	青	オープンキャンパス	0	1	1	嘔気・嘔吐(1)
9/6(金)・7(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
9/7(土)	青・相	社会情報学研究科入試	0	0	0	
9/16(月祝)	青	大学同窓祭	1	0	1	外傷(1)
9/28(土)	青	9月学部・大学院学位授与式	0	0	0	
10/5(土)	相	高等部相模原キャンパス見学会	0	0	0	
10/12(土)・26(土)	青	2025年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
10/12(土)・13(日)	相	相模原祭	1	3	4	外傷(4)
10/26(土)・11/23(木祝)	相	2025年度入学者選抜入試(年内実施)	0	0	0	
11/1(金)～3(日)	青	青山祭	3	6	9	腹痛(2)、外傷(2)、捻挫・打撲(2)、体調不良(3)
11/9(土)	相	ペアソーシャルエンド企画 秋のキャンパス見学会	0	0	0	
11/16(土祝)	青	創立記念行事	0	0	0	
11/23(土祝)	青	2025年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
11/30(土)	青	ペアソーシャルエンド企画秋のキャンパス見学会	0	0	0	
12/7(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
12/7(土)	青	2025年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
1/18(土)・19(日)	青	大学入学共通テスト	0	2	2	風邪(1)、月経痛(1)
1/25(土)	青・相	社会情報学研究科博士課程入試	0	0	0	青山C利用者0 相模原C利用者0
2/7(金) 9(日)～11(火) 13(日)～15(土) 17(月)～19(水)	青	一般選抜入試	8	7	15	頭痛(4)、腹痛(1)、月経痛(1)、気分不快(1)、嘔気・嘔吐(4)、切傷(2)、その他(2)
3/15(土)	相	AOGAKU OPEN DAY	0	0	0	
3/22(土)	青	AOGAKU OPEN DAY	0	0	0	
3/25(火)	青	学部・大学院学位記授与式 ※2024年度は待機依頼がなく通常業務の一環内の該当者	2	2	4	気分不快(1)、発熱(1)、貧血(1)、嘔気・嘔吐(1)

## 10. 各種情報処理

### (1) 学生健康診断処理関係

実施年月	処理内容		保健管理センター処理	事務システム部処理
2 0 2 4 年	4月	学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理		4/11
		1回目春プリントファイル更新処理		4/11
	4月	学生定期健康診断有所見者リスト出力処理	4/11	
		2回目春プリントファイル更新処理		4/24
	9月	健康診断結果通知打ち出し処理	4/24	
		健康診断届証明書ファイル作成		4/24
	9月	3回目春プリントファイル更新処理		9/30

実施年月		処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理
2 0 2 5 年	2月	2025年度版Web健康調査票表示期間設定(在校生)	2/27(3/3~3/16に設定)	
		Web健康調査票バージョンに変更		2/28
		Web健康調査票次年度用処理		2/28
	3月	2025年度版Web健康調査表示期間設定(新入生)	3/21(4/1~4/15に設定)	
		学籍新年度処理		3/26
		学生健康診断対象名簿作成処理	3/26	
		SANSHOUDB新年度学籍情報参照開始		3/26
		新年度離籍分離処理・戸別離籍分離処理・保留データ離籍分離	3/27	
		学籍身分異動統計処理	3/27	
		2024年度版Web健康調査離籍者削除処理		3/27

## (2) 教職員健康診断処理関係

実施年月		処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
2 0 2 4 年	6月	人事部人事課より教職員退職者・定期健康診断受診対象者リスト提供		6/12
		教職員健康診断Accessデータ作成処理	6/25	
	9月	人事部給与課より6月以降就任・退職者リスト提供		9/13
		教職員健康診断Accessデータ更新処理	9/19	
	10月	教職員健康診断アップデート処理	10月中旬	
		教職員有所見者呼出しリスト出力処理	10月中旬～通年	
		人間ドック結果用Accessデータ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年	
		私学共済提出用健康診査結果処理	10月中旬～通年	

## 1.1. 全国保健管理研究集会研究発表

保健管理センターでは、年に1回開催される全国大学保健管理研究集会において研究発表を行っている。2024年度は「大学生の妊娠性に関する知識についての調査」の演題で発表を行った。

年度 (全国保健管理研究集会開催回)	研究発表演題
2012年度(第50回)	「大学生のインターネット依存と疲労自覚症状に関する実態調査」
2013年度(第51回)	「大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査」
2014年度(第52回)	「大学生の進級失敗リスクとインターネット依存」
2015年度(第53回)	「大学新入生における薬物使用リスクに関する研究」
2016年度(第54回)	「インターネット依存の大学在学中の発症に影響を及ぼす因子に関する検討」
2017年度(第55回)	「学生食堂を利用した生活習慣病予防教育の試み」
2018年度(第56回)	「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2019年度(第57回)	「女性教職員における睡眠実態に関する調査～三次元睡眠尺度を用いて～」
2020年度(第58回)	①「本学教職員の睡眠に関する実態調査」 ②「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2021年度(第59回)	①「新型コロナウイルスが大学生に及ぼす心理的影響について」 ②「大学生の新型コロナウイルス感染症対策に関する意識と行動」
2022年度(第60回)	「本学教職員の新型コロナウイルス感染症に対する意識と行動の実態調査 ～新型コロナウイルス恐怖尺度を用いて～」
2023年度(第61回)	①「新型コロナウイルス感染症流行下の大学生の生活習慣とBMIの変化」 ②「睡眠状況の変化がBMIに及ぼす影響について」
2024年度(第62回)	「大学生の妊娠性に関する知識についての調査」